



■当協会に「防衛用電子戦・レーダ研究部会」が新たに発足■

一般財団法人 防衛技術協会では、新たな部会として「防衛用電子戦・レーダ研究部会」を設立することになり7月16日、東京・新宿区のグランドヒル市ヶ谷において設立総会を開催した。本部会の設立は、当協会にとって「水中防衛技術研究部会」「防衛用ヘリコプタ研究部会」「防衛用ロボット研究部会」「ヒューマン防護システム研究部会」「光波・ミリ波センシング研究部会」に次いで6番目となる。

この部会の設立目的は、防衛技術の中でも“防衛用電子戦・レーダ技術”の研究に関する官民の技術者相互の啓発および研鑽することであり、その研究の活性化、効率化等を図ることによって防衛用電子戦・レーダ技術の向上に資するものである。

設立総会は午後4時半から高岡理事長の開会挨拶で始まり、部会設置趣意書ならびに部会会則を採択した。役員選出では部会長に宮崎守泰氏（三菱電機株）、幹事長に浅古淳氏（株東芝）などが決まった＝右下写真。その後、平成27年度活動計画概案と



開会挨拶する高岡理事長①と
祝辞を述べる渡辺技本長

平成27年度活動予算計画案が承認され、正式に発足した。最後に、来賓の渡辺秀明 防衛省技術研究本部長が祝辞を述べて設立総会を閉会した。

